



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services

## MSW ニュース

No.144 号

発 行：沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部

編 集：崎濱智子（医療法人琉心会 勝山病院）

事務局：沖縄県総合福祉センター 西棟 2 階 小規模団体室

〒903-8603 那覇市首里石嶺 4 丁目 373-1

TEL ; 090-3790-2756 FAX ; 098-893-1221

E メール ; jim.msw.oaswhs@gmail.com

回覧などの際はプリントアウトなどしてください

### 目 次

- ・社員総会開催報告..... p 2
- ・研修報告.....p2～4
- ・実習生受入報告..... p 4
- ・新入会員紹介.....p4～5
- ・ゆたしく うにげ～さびら.....p5
- ・トピックス（琉球新報「福祉の窓」掲載済記事）.....p6～ 7
- ・「そしある」さん 第 0 号..... p 8
- ・各部会からのお知らせ..... p 9～11
- ・理事会議事録.....p11～14
- < 休 載 >
- ・入退院支援連携デザイン事業報告
- ・自主勉強会報告

## 社員総会開催報告

令和 7 年 5 月 21 日（水）15 時から、那覇市金城にあるともかぜ振興会館において、定期社員総会を開催した。

議決権のある社員総数 142 名  
出席社員数（委任状による者を含む） 95 名

以上のとおり社員の出席があったので、定款の規定により、本定時総会は適法に成立し、開催する旨を事務局長秦克之より宣言し、会場より議長以下選出し議事に入った。

議長：宮城幸之佑（なかがみ西病院）  
副議長：崎原盛司（ハートライフ病院）  
議事運営委員：田島奈津子（大浜第二病院）  
書記：山本裕太（大浜第一病院）  
議事録署名人：嘉手納泉也（大浜第一病院）

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告を各部会部長より報告され満場異議無く承認された。  
第 2 号議案 令和 6 年度決算報告を事務局長より報告され満場異議無く承認された。  
第 3 号議案 令和 7 年度事業計画案を各部会部長より報告され満場異議無く承認された。  
第 4 号議案 令和 7 年度予算案を事務局長より報告され満場異議無く承認された。

令和 7 年 5 月 21 日（水）  
一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会定時社員総会  
代表理事 新垣哲治  
書記 山本裕太  
議事録署名人 嘉手納泉也

\*\*\*\*\*

## 研修報告

\*\*\*\*\*

### 犯罪被害者支援について

県立中部病院 奥平 藤也

\*\*\*\*\*

5 月 21 日(水)14 時より、那覇市のともかぜ振興会館より、犯罪被害者等支援について研修会に出席しました。公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター(以下、センター)より相談員を

お招きし、被害者の置かれた状況や心理面の理解について、センターの活動内容について等の講演をいただきました。

犯罪被害者は、精神的にはショックを始め多様な感情を抱くことや、集中力や記憶力の低下、睡眠障害、食欲不振、過呼吸、動悸、めまいなどの身体症状を伴うことがあるとのことでした。また、社会的には、自宅が事件現場になった、加害者からの再被害の恐れがある、近隣の噂や誹謗中傷（二次被害）に耐えられないといった理由から、転居を余儀なくされることがあることや、医療費や弁護士費用、転居費用など、事件によって突発的な出費が発生すること、また、心身の不調により仕事に支障をきたしたり、休職・失職したりすることで収入が途絶え、経済的に困窮するおそれがあること、加害者からの損害賠償が十分に得られないことといった状況があると述べていました。

センターには17人の相談員と25人の支援員が所属し、電話相談、面接相談のほか関係機関、病院等への付き添いといった直接支援をしており、必要に応じて離島にも出向くとのことでした。さらに、令和6年10月から沖縄県犯罪被害者等見舞金制度が始まっているが手続き上診断書が必要な方がおり、医療機関で作成するにあたり留意が必要であること、被害者に差し上げている「被害者ノート」に医療ソーシャルワーカーを紹介しているといった説明があり、我々医療機関で働く者は、犯罪被害者やその家族に対してさらなる理解を深めることの必要性を認識するとともに、院内周知方法の検討をするなど支援を漏らさない仕組みづくりが必要と感じた研修でした。

\*\*\*\*\*

#### 友愛医療センター地域医療部入退院支援室 西岡 敏

\*\*\*\*\*

今回、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会の研修会に初めて参加しました。沖縄被害者支援ゆいセンターの活動について研修報告をします。今回の研修会では犯罪被害者の影響と支援の必要性について学び、支援の流れと現状について知ることができました。犯罪に巻き込まれることで、捜査や裁判に伴う時間と精神的な負担、生活上の問題から転居費などの経済的負担、加害者が出所することによる不安など被害者とその家族に大きな影響を与え、被害者は長期にわたって苦しみながら生活が続けることが分かりました。被害にあったことを境に人生が一変してしまうことを想像できました。私たちMSWは、被害直後や数年が経過して心身の不調を訴えた被害者と関わることがあるかもしれません。犯罪被害も様々なものがあり専門的な判断が必要だと感じました。目の前にそのような患者さんがいた場合、今の私に何ができるのかまったく自信はありません。ただ、関係性を築くという出発点は変わらないのだと考えます。私はこの研修会を通して初めて沖縄被害者支援ゆいセンターの存在を知りました。私と同じような方たちが多くいたことが印象的でした。研修に参加した方たちは、役職や年齢関係なく学ぼうとする姿勢がありとても居心地のいい空間でした。沖縄県医療ソーシャルワーカー協会は志を持つ仲間が集まったネットワーキングであると感じ、昨年国家資格の勉強で学んだ内容を思い出しました。学んだ内容を体感することができるのは嬉しいです。MSWとなって2か月、毎日自分の知識・技術不足を痛感し焦りを感じます。その気持ちと向き合

いながら、志を持つ仲間と共に学んでいきたいと思っています。これからもよろしくお願い致します。

\*\*\*\*\*

## 実習生受入報告

\*\*\*\*\*

北中城若松病院 診療部 医療福祉相談課 大嶺洋

\*\*\*\*\*

2024年度は2名の実習生を受け入れた。1名は冲国大より180時間実習、もう1名は日本総合研究所社福祉養成所より60時間実習だった。一方は成人を迎えたばかりの学生、もう一方は定年前の公立学校教師で、1週間程度実習期間が重なったこともあり、実習指導者としては大変興味深い体験をさせてもらった。実習プログラムを作成するだけでも大変な作業だが、実習生そのものをアセスメントし、どのようなプログラムであれば実習生自身が主体的に取り組むことができるのかを実習生と実習指導者一緒に作り上げる重要性を再認識した。この240時間の新カリキュラムになって気になることがある。後半の実習を当院で受け入れた際、複数の実習生より「前半の実習先で福祉に向いていないと言われた」「SWになる自信がなくなった」といった発言があった。未来の担い手を私たちが潰してしまわないよう、実習中の言動・態度には細心の注意を払っていきたい。

\*\*\*\*\*

## 新入会員紹介

\*\*\*\*\*

南部徳洲会病院 医療福祉相談室 金良唯花

\*\*\*\*\*

はじめまして、2021年4月から南部徳洲会病院でMSWとして勤務しています、金良唯花と申します。南部徳洲会病院では、泌尿器科・外科病棟をメインで担当しています。

2025年5月末から沖永良部徳洲会病院に応援へ行っています。沖縄本島とは違い施設数・在宅サービスの事業所数が少ないため患者さま・家族さまの不安を取り除きながら退院を調整していくことに苦戦しています。けれども、南部徳洲会病院で得た経験を活かし、沖永良部徳洲会病院の先輩方にサポートしてもらいながら、業務に取り組んでいます。

学びの心を忘れずにソーシャルワーカーとして日々成長して行きたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

\*\*\*\*\*

南部徳洲会病院 医療福祉相談室 上原 義永

\*\*\*\*\*

はじめまして、南部徳洲会病院にソーシャルワーカーとして勤務しています上原義永と申します。6 階南病棟で整形外科病棟を担当しています。そのため主に骨折の患者様の入院が多く入院前のADLより低下していることが多いため生活環境の調整や生活場所の変更をする支援が多くなりますが、できる限り元の生活ができるようにと考えサービスの調整など支援しています。

当院は急性期病院のため、患者入退院が多く退院のスピードも速いなかで患者様とご家族様ニーズに応えられるように多職種とも連携を図り、より良い支援をできるように心がけています。

今後は研修や勉強会などの機会があれば積極的に参加をしていき、いろいろな知識や支援方法などを学んでいきたいと思えます。皆様と連携を図りながら寄り良い支援を行ってきたいので今後ともよろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*

ゆたしく うにげ～さびら

\*\*\*\*\*

嶺井第一病院 地域医療連携室 又吉恵理

\*\*\*\*\*

嶺井第一病院は浦添市にあり、機能としては一般病棟(25床)、回復期リハビリ病棟(3階:50床 4階:28床)からなる103床の病院です。1976年(昭和51年)12月に『脳神経外科 嶺井病院』として開院し、2026年には創立50周年を迎えます。

現在、地域医療連携室には事務1名、医療ソーシャルワーカー5名在籍しており、外来受診の調整や回復期リハビリへの受け入れ相談、入院患者の退院調整を担っています。若年の脳卒中患者や、身寄りのない方、経済的な問題など、患者さんの抱える課題は様々で、日々悩みながら患者支援にあたっています。

さて、皆様『HAL』をご存知でしょうか。『HAL』とは、いわゆるロボットスーツの事です。疾患により下肢に障害のある方、脚力が弱くなった方の起立動作や歩行機能を改善・維持するための医療機器です。

当院では、本年度よりHALを導入しています。HAL利用には対象疾患があり、神経系の難病疾患の方が対象です。具体的な利用については、まずは情報を頂き検討することになりますが、対象の方であれば3週間当院での入院リハビリが可能です。

ご興味がありましたら、当院 地域医療連携室 又吉までご連絡ください。

\*\*\*\*\*

## トピックス

\*\*\*\*\*

### 『病院内での動画撮影なぜ禁止？ プライバシー侵害の恐れ』

琉球新報 福祉の窓 2025 年 4 月 26 日掲載済

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 田場正志

\*\*\*\*\*

#### 【質問】

交流サイト(SNS)で動画投稿を日課にしていたのですが、病気で入院してしまいました。入院中に動画投稿をしようとしたら、病院内は撮影禁止と言われました。日課でもあるので動画投稿したかったのですが、撮影禁止に納得いきません。

#### 【回答】

近年、動画撮影や録音が手軽にでき、インターネットへの投稿・拡散が簡単にできるようになりました。その一環として質問者の方のライフスタイルとして動画投稿があると思われます。

しかし、病院内にはさまざまな人がいらっしゃいます。例えば他患者やそのご家族、病院職員、業者です。動画撮影および録音をすることで、本人以外の人々の肖像権の侵害、プライバシーの侵害をしてしまう可能性があります。そうすると、最悪の場合、訴訟問題まで発展してしまう可能性があります。

多くの病院は、トラブルを未然に防ぐ目的でも撮影・録音禁止としているところが多いです。法的根拠としては、民法 206 条(所有権)において、施設所有者(管理者)が施設管理権において権利乱用等の法令違反にならない限り、撮影・録音を禁止できると解されています。SNS は不特定多数の方が見られます。その結果、予期せぬところで個人情報保護法に抵触する可能性もあります。

原則として、病院内で決められた規則を守っていただくことをお願いしています。撮影・録音をしたい場合、特別な理由や許可が必要になります。すべて許可が下りるわけではないですが、まずは医師や看護師、医療ソーシャルワーカーなどへご相談いただけると幸いです。

\*\*\*\*\*

## 『転院望む母、本心は帰宅 選択肢提示し安心感を』

琉球新報 福祉の窓 2025 年 5 月 24 日掲載済

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 国仲晃平

\*\*\*\*\*

### 質問

入院中の母が退院を前に、「入浴や排せつなどで、家族に迷惑をかけたくない」と転院を希望しています。しかし、慣れた家への思いは強く、本心では帰宅を望んでいるように思います。どのように関わればよいでしょうか。

### 回答

お母さまのご退院を控え、ご家族としていろいろと不安や迷いを感じていると思います。「迷惑をかけたくない」と転院を希望するお母様の気持ちの奥には、ご家族への遠慮や思いやりが強くあるのではないのでしょうか。

大切なのは、お母さまが安心して自分の気持ちを話せるような関わり方を意識することだと思います。自宅退院になった場合も迷惑じゃないと伝えた上で、「一番安心できる場所ってどこだと思う？」「もし心配ごとが何もなかったら、どこで過ごしたい？」といったように、不安を取り除きつつ自然に本音を引き出せるような聞き方が有効です。

また、医師や看護師、リハビリスタッフと連携しながら、現在の身体状況やご自宅での生活について具体的に考えていくことも大切です。

例えば、デイサービスや訪問介護、福祉用具の利用など、必要な支援を整えることで、「自宅でも安心して過ごせる」と感じてもらえるかもしれません。まだ介護認定を受けていなければ、入院中に申請を進めて、準備が整ってから退院するという方法もあります。

本人の思いは一面的ではなく迷いや葛藤もあります。まずはその気持ちを安心して話せるようなさまざまな選択肢を提示し、本人が望んだ形で退院を迎えられるように環境を整えていくことが、支援の第一歩になると考えます。

\*\*\*\*\*





## 各部会からのお知らせ

\*\*\*\*\*

### 【 研修部 】

#### ■ 初任者オリエンテーション & 座談会

対象	対象者: おおむね実務経験3年以下
日時	2025年6月14日(土) 受付14:00 開催14:20~16:30
参加方法	事前に専用フォームからお申し込みください。 <a href="https://forms.gle/jjUNfPzGVw9Thv34A">https://forms.gle/jjUNfPzGVw9Thv34A</a>
参加費	無料
備考	詳細は協会ホームページでご確認ください。
問い合わせ	とよみ生協病院 玉那覇(098-911-5011)

#### ■ 2025年度 初任者研修会

対象	対象者: おおむね実務経験3年以下
日時	2025年7月13日(日) 9:00~16:30 2025年7月27日(日) 9:00~12:00 2025年8月24日(日) 9:00~17:00 2025年9月 7日(日) 9:00~16:00
参加方法	事前に専用フォームからお申し込みください。 <a href="https://forms.gle/mzRkRPcQ8keuPSZo8">https://forms.gle/mzRkRPcQ8keuPSZo8</a>
参加費	会員無料、非会員1講義につき3,000円
備考	詳細は協会ホームページでご確認ください。
問い合わせ	沖縄協同病院 兼濱(098-911-5167)

#### ■ 自主勉強会・めだかの学校

対象	対象者: おおむね実務経験3年以下
日時	2025年7月5日(土) 14:00~16:00
参加方法	事前に専用フォームからお申し込みください。 <a href="https://forms.gle/eHwUAtt6X3vq9Da69">https://forms.gle/eHwUAtt6X3vq9Da69</a>
内容	施設見学(定員15名)
問い合わせ	博愛病院 永井(098-889-4830)

## ■ 自主勉強会・めだかのホームルーム

対象	対象者: おおむね実務経験4年以上
日時	① 2025年7月8日(火) 19:00~20:30 ② 2025年9月9日(火) 19:00~20:30
参加方法	事前に下記までお問い合わせください
内容	事例検討
備考	奇数月の第二火曜日にオンライン開催。 画面オフでも参加 OK です！
問い合わせ	沖縄協同病院 兼濱(098-911-5167)

## ■ 自主勉強会・めだかの放課後「事例研究について学ぶ～実践を理論的に見る～」

対象	会員のみ
日時	調整中
参加方法	事前申込
備考	開催日決定次第、協会ホームページ「研究案内」で案内
問い合わせ	大浜第一病院 嘉手納(098-866-5171)

## ※ その他

九州医療ソーシャルワーカー協会教育研修部公式 BLOG

「医療ソーシャルワークサプリー from 九州医療ソーシャルワーカー協議会」更新中！

こちらの QR コードからご覧になることができます



## 【 広報部 】

・新企画検討中 アイデアも随時募集中!!

・「ゆたく うにげ～さびら」(自施設、部署など紹介コーナー)では、

**会員所属の病院、施設の魅力を絶賛掲載中!!**

**掲載希望の方は事務局 Eメールでご連絡ください！**

## 【 社会活動部 】

### ■ 当協会 親睦会

5年ぶりに開催します。会員が一堂に会し顔を合わせ、情報交換やコミュニケーションを通して良い交流につながればと思います。楽しい時間になることを願っています。

日時: 2025 年 6 月 14 日(土) 17 時 30 分開始

場所: 宜野湾市伊佐

## ■ 県民健康フェア

沖縄県医療保健介護連合(なごみ会)21 団体が一致団結して今年も開催します。

当協会では MSW や医療福祉について住民に周知する良い機会となります。昨年に続き、初任者の会員の皆様には当日の役割をお願いすると思います。よろしくお願いします。

今年は 8 月 17 日(日) 予定です。

## ■ ハンセン病患者及び回復者支援について

公益財団法人沖縄県ゆうな協会の相談窓口にはソーシャルワーカーが配置されています。病気を正しく理解するため、患者および家族の援護に関する知識を得るために関心を持つことは大切だと思います。なお、第 73 回日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会(三重大会)6 月 21 日(土)のプログラムにおいて、「ハンセン病回復者が置かれている現状」をテーマにシンポジウムが開催されます。

ゆうな協会ホームページ <https://www.oki-yuuna.org/>

\*\*\*\*\*

## 理 事 会 議 事 録

\*\*\*\*\*

### 5月理事会報告

#### 2025年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2025 年 5 月 19 日(月)19:00~20:00

場所: 中頭病院 & Zoom

【出席者】當銘由香副会長、安慶名真樹副会長(司会)、伊禮智則(連絡)、長原野、奥平藤也、池間俊(書記)、大城将平、大嶺洋、玉那覇夏汀

【オブザーバー】樋口美智子、嘉手納泉也、兼濱愛里、宮城幸之佑

【委任者】新垣哲治会長、秦克之事務局長、高江洲アヤ子、宮城郁美、高澤信哉

#### <各部報告・協議事項>

〔研修部〕 以下の報告を受けました

(1) 自主活動支援

①めだかの放課後『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう!』

2025 年度 第 1 回 未定

問い合わせ先: 沖縄国際大学/樋口、大浜第一病院/嘉手納

②めだかのホームルーム 担当: 兼濱 @Zoom 開催

2025 年度 第 1 回 5 月 13 日(火)19 時~ 事例検討(沖縄協同病院: 兼濱) 参加: 5 人

第 2 回 7 月 8 日(火)19 時~ 事例検討(とよみ生協病院: 玉那覇)

③めだかの学校 担当:永井・玉那覇

2025 年度 第 1 回 7 月 5 日(土)14 時～16 時 施設見学(老健シルバーピアしきな)

(2)九州協議会関連事業 担当:池間

九州大会:佐賀大会 11 月 22 日(土)～11 月 23 日(日)

講師:京都大学 篠田大輔先生

内容:社会的処方について

※次年度以降:2026 年度 鹿児島開催、2027 年度 沖縄開催予定。

(3)全体スケジュール

①定例勉強会(総会) 担当:安慶名

日程:5 月 21 日(水)14 時～15 時(13 時 30 分～受付開始)

内容:「沖縄被害者支援ゆいセンターの活動について」

講師:富村愛子氏(沖縄被害者支援ゆいセンター)

場所:ともかぜ振興会館

②初任者研修

初任者研修スケジュール

日付・場所	時間	内容(講師)
6月14日(土) @北中城若松病院	14:00～16:30	オリエンテーション 参加:研修部、事務局
7月13日(日) @とよみ生協病院	9:00～16:30	医療制度改革の変遷と MSW 業務(樋口氏) 医療ソーシャルワーカーの価値・倫理(宮良氏) アセスメント(島袋氏) 記録について(當銘氏)
7月27日(日) @沖縄協同病院	9:00～12:30	脳卒中→南部医療センター竹下朝規医師+1 糖尿病→中部病院 島袋瑞枝看護師+1 認知症→那覇市立病院 嵩原安嗣看護師
8月24日(日) @ハートライフ病院	9:00～17:00	急性期(宮城氏) 回復期・地域包括ケア(大城氏) 緩和ケア(長氏) 精神科(新垣病院:知花氏) 生活保護(高江洲氏) 医療保険(喜舎場氏 調整中)
9月7日(日) @中頭病院	9:00～16:00	介護保険(大嶺氏、CM) 退院援助(伊禮氏、秦氏)

・シラバス申請の結果、26ポイント認定。

・講師確認票(謝金の支払い)は事務局にて対応する。

・会員講師の場合は従来通り交通費規定(医療圏域)を基準に則って支払いする。

【協議事項】

・講師謝金について(辞退、講師が複数人の場合など)意見交換を行った。

③全体研修 担当:池間

・「記録について生活支援記録法(F-SOAIP)」を全3回シリーズとして開催予定。調整中。

〔広報部〕 以下の報告を受けました

- MSW ニュース:No.143(5/1 発行) 北部地区医師会病院／宮城さん
- 公式 LINE 登録者数:161 名(前月比+3 名)
- 公式ホームページ閲覧数:1519 件(前月比+485 件)
- 公式ホームページ内の FAX 番号 ⇒ 中頭病院 FAX 番号へ修正作業完了

〔社会活動部〕 以下の報告を受けました

- 福祉の窓:5/24 掲載(担当:沖縄赤十字病院)5/21 掲載分は那覇市立病院に依頼予定。
- なごみ会健康県民フェア 実行委員会:8/17 開催。テーマも決定
- 沖縄県ソーシャルワーク学会 次年度の社会福祉公開セミナーは MSW 協会が幹事団体となるため今月末に実行委員会を立ち上げる予定

〔事務局〕 以下の報告を受けました

□入退会報告

入 会 届 : 1 人

所属先変更: 0 人

退 会 届 : 0 人 ※会員総数も次回から報告

- 総会の定足数が不足していると議案成立が困難となるため、委任状の提出がまだの会員のいる病院へ、理事メンバーで声かけしていく。
- 新入会員への案内(入会確認・会費振り込み等)が事務局変更に伴い曖昧になっているかもしれないので前年度から入会している会員に確認し、案内できていなければ対応。
- 昨年度の総会后、協会の定款変更に伴い法務局での手続きが必要。後日、理事メンバーには必要書類の提出依頼予定。

<その他報告協議事項> 以下の報告を受け意見交換を行いました。

□沖縄県入退院支援連携デザイン事業

- ①小規模離島市町村等での一般住民向け説明会:2 回 担当:安慶名
  - ・渡嘉敷村 9/26(金)開催予定。
  - ・座間味村と阿嘉島の2カ所は10月に日程調整中。
- ②入退院支援連携やその他在宅医療・介護連携の推進に資する研修等の実施 担当:當銘
- ③市町村における身寄り問題を扱う体制の構築支援
  - 1) 自治体との全体会議:2回

2) 自治体との打ち合わせ/多職種事例集ワーキンググループ会議:6回

3) 多職種連携事例集の作成会議:3回

□県ソーシャルワーカー協議会

・次期参議院議員選挙候補者への質問状(案)について

□会員交流について

・6/14(土)の初任者オリエンテーションの後に会員同士の交流会を開催検討中。

※次回理事会 2025年06月16(月)19:00～

司会:秦 書記:伊禮 連絡:玉那覇

議事録署名人 新垣 哲治

\*\*\*\*\*

### ☆ 編集後記 ☆

気温30度を超える暑さ、体力的(年齢的?)に厳しい季節となり、クーラーの中でホッとする毎日です。熱中症リスクや体調管理には周囲の方の声掛けや配慮が必要となります。職場でもお互い声かけあって、こまめな水分摂取と適宜休憩をとり、休暇も利用しながら楽しく夏を乗り切りましょう!

\*\*\*\*\*

## MSW協会 公式LINE 加入のご案内

協会名を検索して「友だち追加」で完了!



<https://www.msw-oaswhs.jp/>



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services